

日本全国みんなで作るサンゴマッププロジェクト



3年目の新機能「白化・産卵」コースの紹介



【日本全国みんなで作るサンゴマップ実行委員会2010】

○ 浪崎直子・山野博哉・鈴木倫太郎 (国立環境研究所), 大堀健司 (エコツアーふくみみ), 翁長 均 (ネイチャーワークス), 安村茂樹 (WWFジャパン), 佐藤崇範 (黒潮生物研究所), 土川 仁・宮本育昌 (コーラル・ネットワーク), 古瀬浩史 (自然教育研究センター), 鋒山謙一 (ルーツ&シューツおきなわ), 山中康司 (NPO法人日本安全潜水教育協会), 我妻 亨 (ダイブテリーズ)

● サンゴマップって？

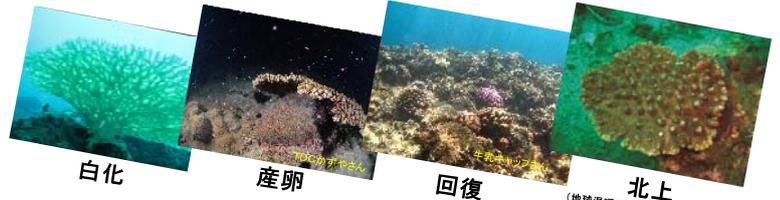
誰でも参加できるサンゴのモニタリングプログラムです。サンゴの目撃情報を広く募り、サンゴ礁の現状を把握します。



参加者はインターネットを通じて簡単にサンゴの目撃情報を投稿出来ます。投稿いただいた情報は、リアルタイムで、ゲージマップ上に表示されます。

● 3年目、ここが新しくなりました！

これまでのサンゴ分布情報に加えて、サンゴに関する下記4つの情報を入力できるようになり、結果を表示する機能も①分布マップに加えて、②白化マップと③産卵マップを追加しました。



ブログと情報投稿者ランキング表示機能も追加

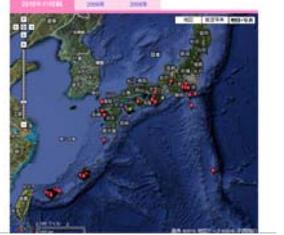
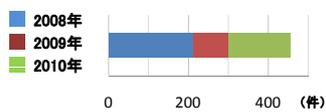


① 分布マップ

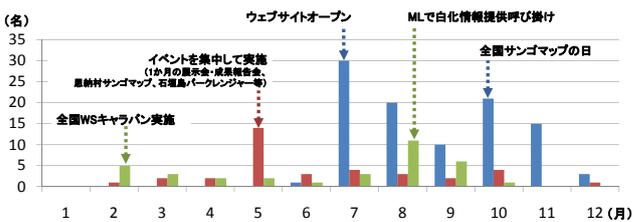
3年間で集まったサンゴの分布情報
(2008年7月1日～2010年11月27現在)

● 情報提供数: 454件

白化: 381件、回復: 6件、北上: 1件含む



● 情報提供者: 170名 (登録月ごとに新規に情報提供した人の数を表示)



情報提供者の数は、イベントの実施後やメーリングリストでの呼びかけなどの後に提供者数が増加する傾向が見られた。

③ 産卵マップ

4か月で集まったサンゴの産卵情報
(2010年7月28日～2010年11月27現在)

● 情報提供数: 4件

● 情報提供者数: 3名

投稿方法は、

トップページから、こちらのフォームを選択

2010年7月28日サイトリニューアルオープンのため今年の沖縄の産卵に間に合わず...来年ぜひ投稿ください。

② 白化マップ

この2つを噴き出して表示

みなさんからいただいた「サンゴの白化情報」を表示しています。

● 全球的に白化 ● 部分的に白化 ● 白化なし、ほとんど白化していない、分らなかつた気がつかなかつた

■ 沖縄本島

山崎 善さん
観測日時: 2010年7月22日
場所: 沖縄本島 嘉手納海岸
大規模な白化はなし。水温も例年並み。雨水等の排水口付近の浅海(水深1m)は、毎時降の大雨で大半が白化した。現在はほとんど回復しつつある。

安藤真穂子さん
観測日時: 2010年7月24日
場所: 沖縄本島 嘉手納海岸
2/2に白化。バガササンゴ類の約4割が白化。(1/19追加情報)その後、数週間たつたという報告が写真とともに寄せられた。台風後回復した模様。

zoanthidさん
観測日時: 2010年7月25日
場所: 沖縄本島 嘉手納海岸
試験: 部分的に白化。

観測日時: 7月15日 (ML情報)
場所: 沖縄本島 嘉手納海岸
本島(佐世の)下の Styobara, Pocilloporaは元気。2本目(岬の方)の群体直径 10cm以内の小さな Acanthopora, Styobara, Pocilloporaがほとんど全て色が落ちていた。最近死んだ群体も、Poritesや, oak coral、クシノアザミドリイシの群体が部分的に産卵しました。その他にキクメイシ類が産卵しました。

観測日時: 2010年7月25日
場所: 嘉手納海岸
今年は大規模白化なし。毎年の小規模白化はあったがほぼ回復。

■ 紀伊半島

観測日時: 8月初旬～
場所: 和歌山県 串本
8月初旬頃にイソギンチャクの白化が確認。サンゴは下初めにクシノアザミドリイシやニホンミドリイシで確認されはじめた。9月17日(観測前)には、オオカメコキクメイシ、オオナガレサンゴ、タカクキクメイシ、イボサンゴなども白化確認。クシノアザミドリイシは白化したが、ニホンミドリイシは未白化。10月以降水温の低下と共に白化は回復している。ハマサソコ類、コモサンゴ類は回復が速く、イボサンゴ類は未回復がほとんどない。イソギンチャク類は回復せず真っ白(2010/11/22)

観測日時: 7月10日
場所: 和歌山県 串本
沖ノ島は完全に白化(サンゴイソギンチャクのみ白化)。瀬戸内海東部東部までは、クシノアザミドリイシやニホンミドリイシが完全に真っ白ではないが白化。他のサンゴはほとんど白化なし。

■ 小笠原

観測日時: 2010年7月14日
場所: 小笠原 小笠原島
沖ノ島は完全に白化(サンゴイソギンチャクのみ白化)。瀬戸内海東部東部までは、クシノアザミドリイシやニホンミドリイシが完全に真っ白ではないが白化。他のサンゴはほとんど白化なし。

観測日時: 2010年7月14日
場所: 小笠原 小笠原島
沖ノ島は完全に白化(サンゴイソギンチャクのみ白化)。瀬戸内海東部東部までは、クシノアザミドリイシやニホンミドリイシが完全に真っ白ではないが白化。他のサンゴはほとんど白化なし。

■ 八重山

観測日時: 2010年7月24日
場所: 石垣島 嘉手納海岸
7月12日前後の大雨でサンゴの白化が確認。大雨の予報時には、海上へ出てしまふような強い風浪でサンゴは少なく、多くが回復後か死んで濁りが去るはなし。死亡率は約30%。7/23からの天気まで白化が回復。キクメイシ類の上層、小型の枝状ミドリイシ類などが部分的に産卵が自立。

観測日時: 2010年8月18日
場所: 石垣島 嘉手納海岸
高知底層部の水温で8月中旬頃から白化が目立ち始め、9月18日現在も深刻化。ヒメサンゴ、ミドリイシ類、キクメイシ、サンゴイソギンチャク、イソギンチャクも色が褪げてきている。昨年と同様だが、10月頃からは復旧し始めたが、台風による擾乱が例年以上に高温で推移。

■ 四国

観測日時: 8月中旬、8月18日、10月
場所: 高知県 高知
高知底層部の水温で8月中旬頃から白化が目立ち始め、9月18日現在も深刻化。ヒメサンゴ、ミドリイシ類、キクメイシ、サンゴイソギンチャク、イソギンチャクも色が褪げてきている。昨年と同様だが、10月頃からは復旧し始めたが、台風による擾乱が例年以上に高温で推移。

2010年のサンゴの白化は、6月末に八重山地方からはじまり、7月下旬に沖縄本島、8月中旬に四国、和歌山県で確認された。屋久島や小笠原では確認されなかった。なお、本情報は、sango, UmibeF, coralconserv, hozen-kyou(一部、MLを通じた私信)の4つのメーリングリストに寄せいただいたサンゴの白化情報も含めています。情報提供くださったみなさま、ご協力ありがとうございました。